

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

＜市政相談連絡先＞

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

6月市議会定例会報告

令和2年第3回市議会定例会は、6月10日から24日までの15日間の会期で開かれました。

本定例会では、議員提出第1号 高崎市議会政務活動費の臨時特定に関する条例の制定について、高崎市市税条例の一部改正について、高崎市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について、令和2年度高崎市一般会計補正予算（第3号・第4号・第5号）、高崎市農業委員会委員の任命同意について（25件）などの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

＜令和2年度一般会計補正予算を可決＞

議案第65号 一般会計補正予算（第3号）では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ60億9,291万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ2,109億4,114万円としました。主な内容としては、新型コロナウイルス感染症対応に関わるもので、増加した対策費を盛り込むとともに、金融事業の特別対策資金預託金60億円が計上されました。また、本市の当初予算で議決していた多くの事業やイベントの実施が困難になったための中止・縮小及び各関係団体への補助金の減額等、関係者のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

議案第67号 補正予算（第4号）では、国の補正予算に関連し、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業や小学校・中学校等の管理経費として3億785万円を追加し、さらに議案第69号 補正予算（第5号）では、議会費を減額、歳入歳出予算総額を2,112億2,522万6千円としました。

コロナ対応とイベントの見直しで大幅な補正予算の議決となりましたが、市民の皆さまが1日も早く安心・安全な日常生活を取り戻せますよう各常任委員会では詳細な審査を行いました。

～市議会のコロナ対策事業への対応について～

任期中の政務活動費を毎年3割（年間一人30万円）削減し、令和2年度に限った措置として委員会視察等に係る旅費を全額削減することとしました。また、6月議会では一般質問や委員会時間を短縮し、感染リスクの低減をはかりました。



六月定例会

市政に対する質疑

高橋みなおは、定例会開会日の市長提出議案、「一般会計補正予算(第3号)」について登壇し質疑を行いました。以下、概要を報告します。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策における補正予算について

質疑 感染拡大防止対策の中で、教育や医療・福祉、地域経済に与える影響は大変

厳しい状況にあると考える。コロナ対策を中心に、今回の補正予算編成について、各部局へはどのような指示が出され、取り組んできたのかを伺う。

答弁 今後の税收や使用料等が大きく落ち込むことが予想され、厳しい財政運営を強いられ、市として迅速に取り組みなければならぬ状況である。財源確保に向けた取り組みを実施し、事業ベースで約22.8億円を減額した。

質疑 今年度の予算が大きく修正された内容を引きちんと市民へ周知する必要があると認識している。各種イベント等関連経費、団体運営経費、建設事業の削減については全庁的に減額補正が計上されているが、該

当事業を決定するにあたっての考え方や基準はどのようなものか。

答弁 イベントの中止や延期などで執行しない予算の減額、各種団体における行事や活動の中断に伴う事業の縮小、建設事業の一部延期など関係団体等のご理解協力をいただきながら計上した。

質疑 市内企業の操業や経営にも大きな影響を与えている中で、預託金の大幅な増額は期待できるものである。

当初予算議決時には想定できなかった財政状況であり、将来的に税收等の減少が数年続くことも予想されるが、現時点で税收等の歳入をどのように見込んでいるのか。

答弁 企業業績等の悪化を受け、主に法人市民税や個人市民税について、大幅な減収が予想される。納税猶予について市民からの相談もあり、今後も安定した税收の確保は困難であると思込んでいる。日本経済全体としての景気後退になるとの見方もあり、今後更なる財源確保が必要になると考えている。

質疑 今回の補正はコロナ対策が目的であるが、各地域の補助金等も削減項目に含まれていることからして、年度末の不用額の調整も厳しいと思われる。国の二次補正でどの程度の支援が期待でき

きるのか。また、今後想定される災害などに対応する財政運営をどのように考えているのか。

答弁 地方創成臨時交付金が2兆円拡充される予定であるが、自治体への限度額等はまた示されていない。1次補正分と合わせ、有効活用することで財源確保とともに財政調整基金を安定的に管理し、災害等に備えた財政運営に努めていく。

質疑 地方債には事業の制約もあり、例外として臨時財政対策債が発行されているが、今後の事業計画の方向性についての見解は。

答弁 近年にない厳しい財政運営が予想されることから、引き続き経常経費の節減に努めるなど事業計画の内容を精査し、交付税措置される有利な地方債の活用など財源確保に努めたいと考えている。

♪ 後記 ♪

昨年までのこの季節の楽しみは、学校から聞こえる校庭やプールの笑い声、一生懸命ボールを追いかける仲間の掛け声、応援の楽器の音や歓声だったことでしょう。特に最上級生の気持ちを考えると言葉をかけるのもためらってしまうかもしれません。今は見えない敵と闘い、感染拡大を予防するため、一人ひとりが「新しい生活様式」を実践しながら、新たな楽しみ方を発見する時なのかもしれません。この経験は人の繋がりを強くすることでしょう。夢を実現するステージは必ず待っていてくれると信じてみませんか。